

たけた あそ
中九州横断道路(竹田～阿蘇)
第2回 説明資料(別冊)

平成30年 3月13日

国土交通省 九州地方整備局



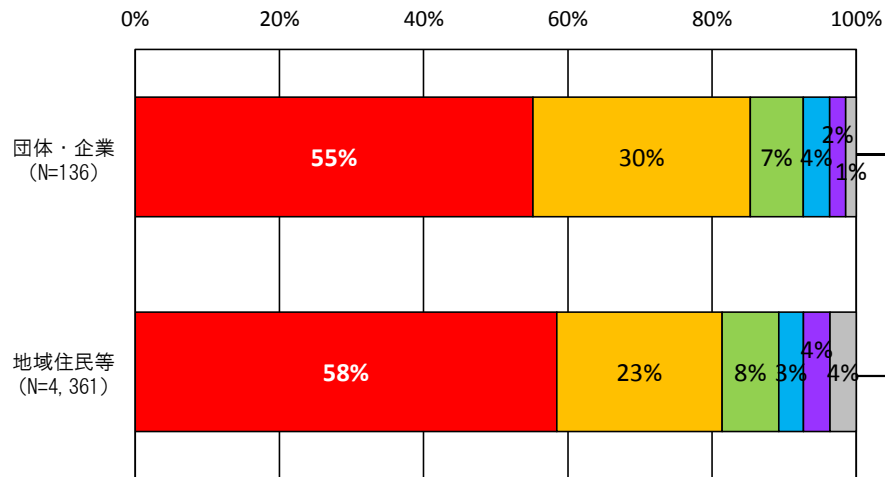
第1回意見聴取結果

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:防災>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<①災害時に通行止め等が発生しやすい>

- いずれの意見聴取方法においても、8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、豪雨や冬期の積雪等で通行止め、規制が発生しており、生活や仕事への支障を問題視している。
- 自治体意見では、九州北部豪雨や熊本地震時の経験をふまえ、災害時における代替ルートの確保が求められている。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



- 以前発生した豪雨が出荷時期と重なり、国道57号が不通のため苦労した。(竹田市/製造業)
- 水害や積雪時に通行止めが発生し、迂回路も山間部のため、道路が少なく大変不便。(竹田市/製造業)
- 山道が多いため、土砂災害が発生しやすい。(阿蘇市/運輸業)
- 北部豪雨の際は、国道57号が寸断し、各方面で迂回が発生した。また、帰宅できない人もいた。(竹田市/団体)
- まとまった雨の時のみ通行止めになる。(阿蘇市/小売業)

- 土砂災害、豪雨、積雪時対応に苦慮する。(産山村)
- 急勾配・急傾斜地なので、通行止めになりやすい。(阿蘇市)
- 災害の影響で、仕事の荷物の入荷が遅れた。(竹田市)
- 国道57号1本で迂回路が少ない。(竹田市)
- 災害時こそ使いたい道なので、使えないと困る。他に阿蘇に行く道が急なので通行止めはとても困る。(産山村)
- 台風や積雪、地震の度に通行止めになる。(竹田市)
- 竹田～阿蘇は、山越えで急カーブが多く崖も多い。災害があればすぐ崖がくずれたり、土砂災害が予想される。(竹田市)
- 熊本～竹田間に国道57号以外の通行手段がない。(竹田市)
- 危険を感じるが実際に不通になった記憶はない。(阿蘇市)

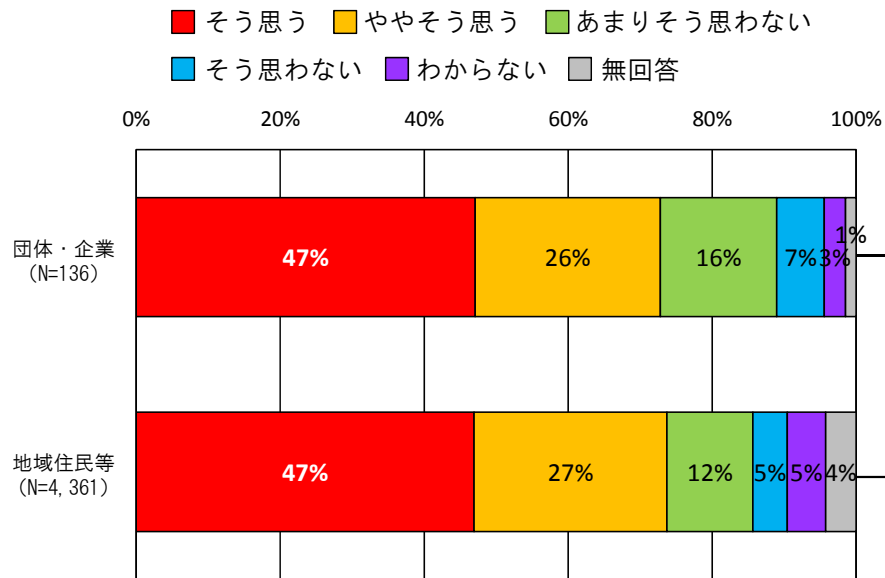
<自治体意見>

- ・ 災害時の通行規制などにより、救助救援部隊派遣や支援物資の到着などに多大な影響がでているため、災害に強いネットワーク(リダンダンシーの確保)が必要です。(阿蘇市)
- ・ 九州北部豪雨では、国道57号を含めた緊急輸送道路が通行止めとなり、救援活動に支障が生じています。また、行政機能も麻痺するなど、被災時の緊急輸送道路の確保が望まれます。(竹田市)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題：物流・産業>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<②急カーブや交通規制等により輸送に時間がかかる>

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、大型車が多く、カーブや勾配により大型車が速度を出せないため、速度低下が発生しているとの意見が寄せられた。
- 自治体意見においても、地域産業を支える重要な物流路線であるが、安全性や定時性の悪さを問題視している。



- **急カーブや登り坂も多く大型車が通行しにくい。** また 大型車がいるとすぐに混雑する。(竹田市/製造業)
- **材料の運搬等に時間がかかる。**(竹田市/製造業)
- **カーブも多く、勾配もあるため、時間がかかる。**(熊本市/運輸業)
- カーブが多く、遅れることがある。(阿蘇市/製造業)
- カーブなどでスピードを落としていくので時間はかかる。**特に冬場は凍結するので怖い。**(竹田市/製造業)
- 信号が少ないため走りやすく、大きなカーブ等はあまり感じない。(阿蘇市/団体)

- カーブが多いため大型トラックがスムーズに通行できていない。(竹田市)
- この道路は大分～熊本の主要道路であり、大型車両が多く積載量も大きいいため、速度が遅い。(産山村)
- **カーブが多く危険を感じる。**(竹田市)
- 急勾配による冬期の凍結や積雪で時間をとられる。(阿蘇市)
- 冬は特に路面凍結のため進めないことが多い。(竹田市)
- 大型車が多く、坂道ではスピードが落ちる。(阿蘇市)
- 坂道で大型車の速度が出ないので混雑する。(産山村)
- 特にカーブが多いとは思わない。(阿蘇市)

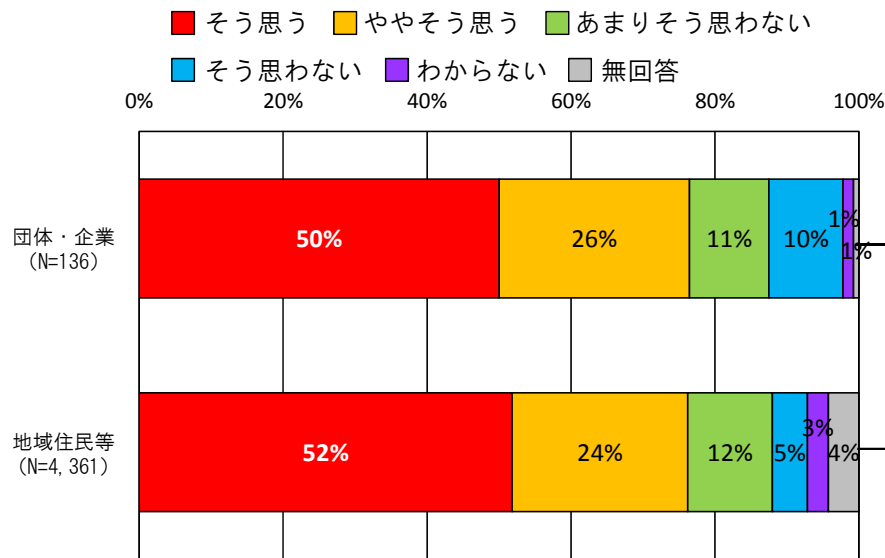
<自治体意見>

- ・ 海路と陸路が結節する本県は、関西・関東方面への船便を安定的に活用する上で、自動車専用道路ではない**国道57号では定時性等の低さに課題**があります。(大分県)
- ・ 国道57号線を利用し、産山村の農産物を熊本市や福岡市まで輸送していますが、**急カーブや急勾配を要因とした事故や故障車が発生**し、渋滞の原因となり輸送に時間がかかっています。(産山村)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題：観光>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<③大分市・熊本市から竹田市・阿蘇市の観光地への移動に時間がかかる>

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、観光地としてのポテンシャルが高いものの、大分市や熊本市から遠く不便という意見が寄せられた。
- 自治体意見においても、観光地が点在するものの移動時間がかかるため、周遊性の悪さを問題視している。



- 観光のポテンシャルは高いが、**観光地までの移動が不便である。** (竹田市/サービス業)
- アクセスが改善されれば、**来訪者が増えるのではないか。** (産山村/団体)
- 距離があるため、移動に時間がかかる。(竹田市/団体)
- **竹田市が大分県の中で一番アクセスが悪い。** (九重町/団体)
- 九州の中央に位置するため、大分市と熊本市どちらも遠く、移動に時間がかかる (阿蘇市/製造業)
- 観光地へ向かう際、あまり苦になっていない。(竹田市/医療福祉)

<自治体意見>

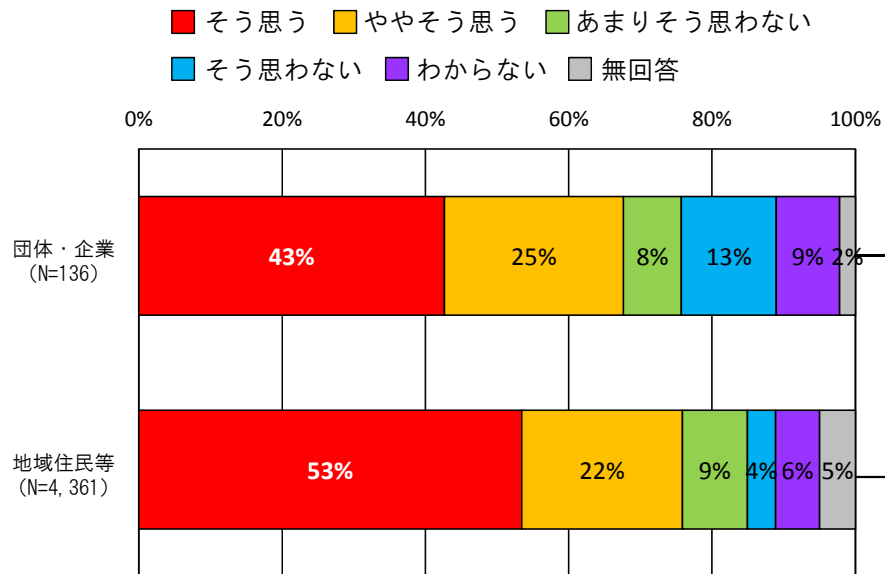
- ・ 国道57号沿線地域には、**全国レベルで人気のある観光資源が集積**しております。しかし、周辺の主要観光地からの移動時間が長いため、**周遊性が低いことが課題**となっています。(熊本県)
- ・ 整備により**さらなる観光客が期待**されるが、道路が寸断されてしまうと影響が大きいため、**災害により通行止めにならない道路**が必要です。(大分市)
- ・ 竹田市は大分県内で最も**アクセスが悪い地域**であると感じるため、中九州横断道路の整備により観光が活性化すると思います。(九重町)

- こんなに不便では観光客は伸びないと思う。(竹田市)
- 竹田市は九州中央部に位置しているが、**観光地として遠く、地の利が生かせない。**(竹田市)
- 大型車が多いため、カーブが多い箇所では時間がかかる。(産山村)
- 1車線のため、**観光シーズンには渋滞が起きる。**(竹田市)
- 観光地までが遠く、時間がかかり、行くまでが疲れる。(竹田市)
- 前にトラックがゆっくり走っていると渋滞する。(阿蘇市)
- 観光なら多少時間がかかっても良い。(阿蘇市)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題：医療>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<④救急医療施設への搬送に時間がかかる>

- いずれの意見聴取方法においても、6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。『そう思わない』『分からない』の意見では、救急搬送の経験がないため問題を感じないとの意見が寄せられた。
- 自由意見では、救急搬送に時間がかかっており、人命にかかわることを問題視している。
- 自治体意見においても、第3次救急医療施設まで60分以上を要する地域が残存しており、速達性の確保が求められている。



<自治体意見>

- ・ 高齢化とともに医療施設への救急搬送人数は年々増加し、第3次救急医療施設まで60分以上を要する地域も残存することから、高次医療施設までの速達性の低さが課題となっています。(大分県)
- ・ 大分市内の救急医療施設まで60分以上を要する地域もあるので、時間が少しでも短くなることが救命活動にとって非常に重要です。(竹田市)

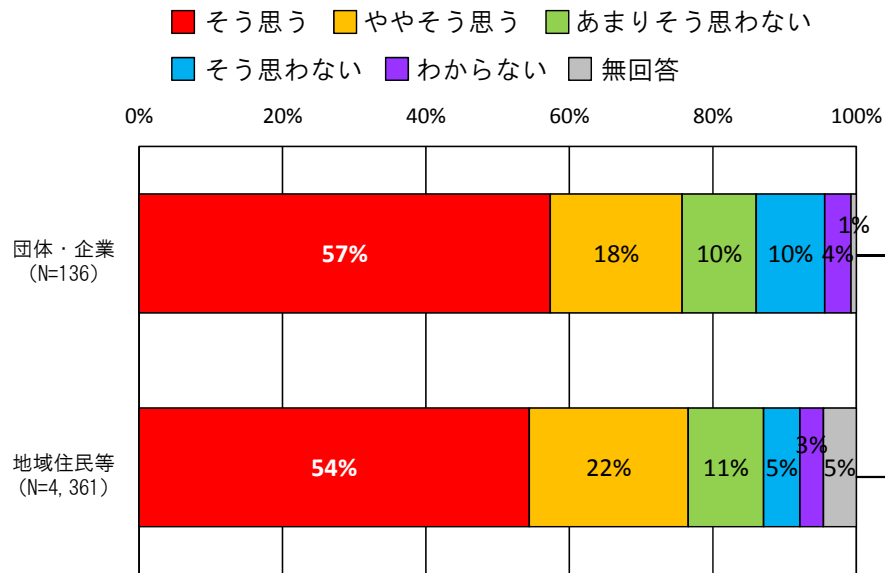
- 救急搬送ではわずかな時間が命を左右するため、搬送時間短縮がすることは重要。(竹田市/製造業)
- 道路が整備されれば、病院の選択肢が増え、市内の病院に通うことができるようになる。(竹田市/医療福祉)
- 道路が1本しかなく、搬送に時間がかかるため問題だと思う。(竹田市/サービス業)
- ドクターヘリやドクターカーが充実してきているが、陸路で大分市へ行くとなると時間がかかり、都市部と比べると劣る。(竹田市/医療福祉)
- 天候が悪い時はあるかもしれないが、ドクターヘリがあるため時間はかからない。(熊本市/団体)

- よく大分市に行くので、少しでも病院などへの移動時間が短くなればいい。(産山村)
- 急カーブ・急勾配により、搬送時の速度が充分に取れない。(阿蘇市)
- 道路事情が悪いため、ドクターヘリに頼ることが多い。(竹田市)
- 急病で困ったことがある。(産山村)
- いつもは近くの病院を利用しているが、処置が出来ない場合が心配。(竹田市)
- 搬送経験がないため実感がわからない。(竹田市)
- ドクターヘリがあるから時間の問題はないと思う。(阿蘇市)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:くらし>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<⑤-①大分市・熊本市などへの移動が不便>

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、大分市などの移動に時間がかかるため、買い物などに不便を感じているという意見が寄せられた。
- 自治体意見においても、大分市や県間の交流が日常的に行われているものの、アクセス面の悪さを問題視している。



<自治体意見>

- ・ 熊本市、大分市への通勤・通学の移動時間がかかり、利便性も悪く、渋滞などの影響も受けやすいため、**走行性の低さが課題**となっています。(阿蘇市)
- ・ 本村から買物に出かける場合、熊本市、菊陽町、大分市が主な行先で**移動時間が60分以上**かかります。そのため、**不便であるという意見や定住に対し消極的な意見**が聞かれます。(産山村)

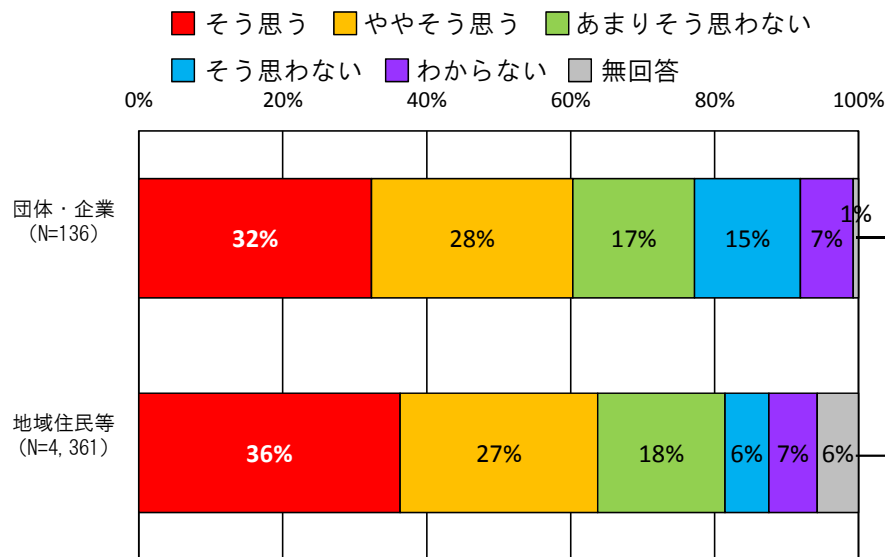
- 大分市まで1.5時間、熊本市まで2時間、まさに**陸の狐島で大変不便**。(竹田市/製造業)
- 交通の便が悪く、**買い物等が不便**。(産山村/団体)
- 竹田市より西側は、中九州横断道路が整備されていないため、移動に時間がかかる。(竹田市/団体)
- **国道57号は急カーブ急勾配が多く交通が不便**で大分市・熊本市への移動に時間がかかる。(竹田市/小売業)
- カーブが多いので非常に運転しづらく、移動が不便。(竹田市/製造業)
- 熊本市へ行くため、大きな不便は感じない。(阿蘇市/団体)

- 大分市、熊本市まであまりにも時間がかかりすぎ。**竹田市からの転出を考えている**。(竹田市)
- 移動に時間がかかり、**出かけるのが億劫になります**。(阿蘇市)
- 大分市に行くときに竹田市までが時間がかかる。(産山村)
- 国道57号しか使えないのでどこに行くにも不便。(産山村)
- 大分市まではだいぶ便利になったが、やはり遠い。(竹田市)
- 大分市内に行くのは、主に買い物だが、とても不便。(竹田市)
- 道も悪いし遠く感じるのであまり行こうと思わない。(阿蘇市)
- 交通量が少ないのでそうは思わない。(竹田市)

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:くらし>

■自治体・団体・企業住民への意見聴取結果<⑤-②交通事故が発生しやすい>

- いずれの意見聴取方法においても、6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
『あまりそう思わない』『そう思わない』の意見では、事故を起こしたことがないや、見たことがないからという意見が寄せられた。
- 自由意見では、急カーブや急勾配での事故や積雪・凍結時の事故を問題視している。
- 自治体意見においても、市街地部への通過交通の流入による混雑と事故、線形不良箇所での車両単独事故が発生しており、安全性の確保が求められている。



■ **急カーブで見通しが悪く、積雪等で事故が発生しやすいため危険。** (竹田市/製造業)

■ 道路幅員が狭い箇所やカーブ・勾配が激しい。(熊本市/運輸業)

■ 冬場の凍結・積雪の時は事故が発生しやすい。(竹田市/小売業)

■ あまり通らないため、事故が多いとの認識は低い。(阿蘇市/サービス業)

■ 事故はあまり遭遇したことがない。(阿蘇市/団体)

■ 高齢者が多く、**交差点やカーブでの事故が多い。** (竹田市)

■ 通勤しているのでよく事故をみかけます。(産山村)

■ 道路が狭いうえにスピードを出す車がいるので、事故が多い。(阿蘇市)

■ **カーブで何度か対向車と危険な状況になった。** (産山村)

■ 長期休暇などの際、**渋滞による追突事故が多い。** (阿蘇市)

■ 凍結積雪でのスリップ事故がある。(竹田市)

■ 多いとは感じていない。(竹田市)

■ 事故はどこでも起きる。(阿蘇市)

■ 交通事故の情報がないので少ないと思っている。(阿蘇市)

■ あまり聞いたことがない。(竹田市)

<自治体意見>

- ・ **市街地部では通過交通の流入により渋滞や追突事故が発生、また、山間部では急カーブ・急勾配など線形不良のため車両単独事故が発生しており、安全性を確保できていない現状があります。** (大分県)
- ・ 阿蘇市(旧波野村)や産山村は、通勤・通学・通院や買い物などの日常生活を、熊本市・菊陽町・大分市に依存している状況ですが、**急カーブや急勾配の箇所が多く、安全性・速達性が低いことが課題**となっています。(熊本県)

第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果

<大分県>

- ・国道57号は、熊本県と大分県の広域防災拠点を結ぶ重要な緊急輸送道路であり、最優先の啓開ルートですが、災害に弱く、平成24年九州北部豪雨や昨年の熊本地震で寸断され、地域の経済活動や救助・救急活動に大きな影響がでました。そのため、被災時の代替ルートの確保が課題となっています。
- ・国道57号は、沿線地域の農産品（トマト等）や製造品（ガソリン、半導体等）を九州内、または全国へ運ぶ産業活動に重要な物流路線ですが、急カーブ等による荷崩れなど走行性の低さに課題があります。加えて、災害時や降雪時の代替路が近隣になく、大幅な迂回を強いられることから信頼性・速達性の低さも課題となっています。
- ・国道57号の沿線は、「阿蘇くじゅう国立公園」や「おおいた豊後大野ジオパーク」、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」、「長湯温泉」、など観光資源に恵まれ、今後も成長が大変期待できる地域ですが、周辺の主要観光地からの移動時間が長いため、観光地間の周遊性の低さが課題となっています。
- ・竹田市は大分都市広域圏に含まれ、通勤・通学・買い物など日常的に大分市と交流があり、また熊本空港の利用など県境を跨いだ交流も日常的に行われていますが、交通の便などが悪く、アクセス性の面で課題があります。

<熊本県>

- ・国道57号は、平成24年九州北部豪雨災害や平成28年熊本地震で通行止めとなり、地域の経済活動や救助・救急活動に大きな影響がでました。熊本県と大分県の広域防災拠点を結ぶ重要な緊急輸送ルートではありますが、被災時の代替ルートの確保が課題となっています。
- ・熊本地震では、国道57号の通行止めにより大分からのガソリン等の輸送が遅れ、避難所などへの供給が滞る事態が発生しました。このような災害時などにおいて近隣に代替路が存在しないことから、大幅な迂回を強いられており、信頼性・速達性の低さが課題となっています。
- ・救急救命センターは都市部に立地しているため、中山間地域では救急搬送に時間を要しており、熊本県では救急救命センターへの移動に60分以上を要する人口が全国第8位となっています。よって、高次医療施設までの速達性の低さが課題となっています。

<竹田市>

- ・災害によって企業や物流活動に大きな影響が出たため、企業活動に対して安全で信頼性の高いルートの確保が課題です。
- ・竹田市は、大分市や熊本市から時間がかかるうえ、国道57号の時間が読めないため、観光ツアー等の周遊ルートが組みにくいという現状があります。
- ・冬季の凍結によるスリップ事故などが多いと感じており、安全性の高い道路が必要です。

第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果

<産山村>

- ・災害時には、国道57号線が熊本市や大分市への重要なアクセス道路となっていますが、土砂災害や豪雨災害により通行止めや通行規制が頻繁に発生しています。そのため、災害時の緊急用道路の必要性が大変重要となっています。
- ・本村への観光客は、熊本経由にての観光客が主となっておりますが、近年は観光客数の減少がつづいています。その要因として、国道57号線の休日の混雑や昨年起きた熊本地震に伴い阿蘇へのアクセスが悪くなったことが考えられます。
- ・本村は現在無医村であり、村に診療所を開設し熊本市や大津町の病院と締結し日替わりの診療を行っています。医師が遠方から来るため、診療受付時間が通常より短い時間となっています。また、急患の患者を医療施設まで移送する場合も所要時間を要している状況にあります。

<阿蘇市>

- ・災害による物流ルートの変更に伴うコスト増や運搬にかかる所要時間の増加、運送業など物流産業に対し安心安全なルートを確保することが課題です。
- ・近年、特に訪日外国人旅行者が増加しており、さらなる観光客増加が期待される中、熊本～大分間の移動時間が長いため、観光地間の周遊性の低さが課題となっています。
- ・緊急輸送道路として安全性や速達性の確保や渋滞などの影響を受けない円滑な移動による救命活動の向上に繋がるルートの確保が課題です。

<その他自治体（観光課）>

- ・九州内の移動は大半が車であるため道路が必要不可欠であり、震災で九州の中央の国道57号が被災したため、観光の周遊ルートが検討しにくい状況となっています。（熊本市）
- ・熊本市へは、移動時間が2～3時間と観光地間の移動に時間がかかっている。また、勾配が多く、冬季は積雪の不安があります。（豊後大野市）
- ・災害に強い道路が必要であり、中九州横断道路により観光面での支援が期待されます。（合志市）
- ・国道57号は震災が発生する以前からたびたび渋滞が発生しています。（高千穂町）
- ・高規格道路がないため、熊本市～大分市の移動に時間がかかることが課題です。（西原村）